



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成28年2月26日発表
担当課:秘書課

事業の名称等
「平成28年度熊谷市表彰式」の開催について

- 日時 平成28年4月2日(土) 午前10時00分から11時10分まで
- 場所 熊谷市立大里生涯学習センター「あすねっと」文化ホール
- 事業概要
市政に功労のあった方々を表彰するため、「平成28年度熊谷市表彰式」を開催します。
本市で最も権威ある、熊谷市表彰条例に基づく表彰では、本市の文化の興隆、福祉の増進、産業の発展又は自治の振興に貢献された4名の方々を表彰します。(功績は別紙参照)
また、熊谷市表彰規則により、市政に功労のあった102名の方々の表彰に併せ、熊谷市職員表彰規程により59名の職員を表彰します。
- 特徴やPRポイント
- その他

※資料の有無(有 ・ 無)

担当者 腰塚、長岡

連絡先 048-524-1112 (秘書課直通)

別紙

平成28年度
熊谷市表彰条例に基づく被表彰者
功績調書

文化功労表彰

かまつ としお
加松 利雄 氏 (84歳 熊谷市本石在住)

元熊谷市体育協会常務理事

元熊谷市人権擁護委員協議会会長

勲五等瑞宝章 (平成14年)

熊谷市文化功労者 (熊谷市教育委員会 平成17年)

— 功 績 —

加松利雄氏は、昭和30年から37年間の長きにわたり学校教育に携わり、この間、大里教育事務所指導主事、同事務所所長、熊谷市立荒川中学校校長等を務めるとともに、その優れた人格と卓越した統率力により、埼玉県算数数学研究会大里地区会長、熊谷市校長会副会長、埼玉県中学校校長会会長の要職を歴任し、終始一貫して教育者としての職責を強く自覚しながら職務に精励し、広く教育行政の発展に寄与されました。

また、氏は、子供たちの健全な心身の育成のため、市内小学生のサッカー教室の指導者として尽力し、少年サッカーの指導者や審判員の養成も行うなど、今日のサッカースポーツ少年団の基礎を築くとともに、平成5年から平成14年まで熊谷市サッカー協会会長を務め、平成9年には熊谷市体育協会常務理事に就任し、サッカーを中心としたスポーツ全般の発展、スポーツを通じた活力ある地域づくりに大きく貢献されました。

さらに、教育職を退職された後も、誠実で温厚な人柄と豊かな経験を生かし、埼玉県立北教育センターの教育相談指導員として市内小中学校を訪問し、地域の教育課題の解決のため活躍されたほか、平成7年からは熊谷市人権擁護委員に就任し、人権相談活動に取り組むかわら、小学校で人権に関する道徳の授業や保護者への講話を行うなど市民の人権意識の高揚に尽力されました。

このように、青少年の健全育成や人権尊重の心の教育など、広範な教育活動を通して本市の発展と教育振興に寄与された功績は誠に顕著です。

福祉功労表彰

さいとう こうた
齋藤 洪太 氏 (70歳 熊谷市拾六間在住)

元熊谷市医師会会長
熊谷市医師会監事
熊谷市教育委員会委員
藍綬褒章(平成21年)

— 功 績 —

齋藤洪太氏は、昭和56年10月、熊谷市医師会に入会以来、医師として34年余の長きにわたり、地域医療の充実と発展に尽力され、温厚篤実にして信望も厚く、平成10年4月から平成20年3月まで医師会副会長として、また、平成20年4月から平成26年6月まで医師会会長として卓越した指導力と情熱をもって、地域医療体制の整備、充実と市民福祉の増進に大きく貢献されました。

平成14年4月には、医師会の理解と協力なくしては果し得なかった、365日の夜間診療機能を充足する「熊谷市休日・夜間急患診療所」を開設へと導かれるとともに、自ら率先して当番医として勤務され、小児救急医療の充実・発展と地域医療の確保に心血を注がれました。

また、氏は、現在に至るまで33年の長きにわたり学校医として児童の健康診断、健康管理及び健康教育の推進に力を注ぎ、この間、熊谷市学校保健会会長等を歴任し、児童及び教職員の健康保持と体力向上に対する健康診断の実施、各種保健事業等広範囲にわたり学校保健会の進展と保健衛生指導、環境改善等に大きく貢献されました。

さらに、平成17年12月に熊谷市教育委員会委員に就任し、平成20年3月から延べ2年間は委員長として、その卓越した学識と高い教育的見識をもって教育行政各般にわたり貢献されるとともに、熊谷市高齢社会対策審議会副会長として、その基本計画の策定の取りまとめに尽力されたほか、熊谷市総合振興計画審議会委員、熊谷市防災会議委員、熊谷市国民保護協議会委員等の要職を歴任されるなど、本市の発展と市民福祉の向上に寄与された功績は誠に顕著です。

産業功労表彰

やすだ ひろのぶ
安田 裕信 氏 (78歳 熊谷市別府在住)

元埼玉縣信用金庫理事長
埼玉縣信用金庫相談役
元コラボ産学官埼玉支部長
黄綬褒章 (平成14年)
旭日小綬章 (平成20年)

一 功 績 一

安田裕信氏は、埼玉縣信用金庫理事長として20年、産学官連携組織「コラボ産学官埼玉支部」支部長として10年の長きにわたり、中小企業の再生や地域経済の活性化に尽力されるとともに、熊谷商工会議所役員として本市商工業の発展に多大な貢献をされました。

この間、氏は、地域経済の基盤を支える中小零細企業の業況が厳しさを増す中で、平成3年の埼玉縣信用金庫理事長就任以来、一貫して「地域内皆様の繁栄に奉仕すると共に真に愛される金庫として地元産業の振興に貢献する」という理念に徹し、地域密着型金融の機能強化を図り、地場産業の育成や地域経済の活性化のため精力的に活動され、その手腕を遺憾なく発揮されました。

また、産業界・教育研究機関・行政等の連携強化により地域活性化と社会貢献を目的とした「コラボ産学官」において、平成18年に地方支部として2番目となる埼玉支部を設立し、初代支部長として関係機関との密接な連携を図り、中小企業経営者の様々な課題解決のため奔走し、大いに活躍されました。

さらに、熊谷商工会議所においては平成2年に議員に就任以来、常議員、金融保険業部会副部長、税務金融委員会副委員長を歴任され、知識・経験・人脈を生かして地元の商工振興のため大きな貢献をされました。

このように、卓越した行動力とリーダーシップを発揮され、商工業の振興により本市の発展に大きく寄与された功績は誠に顕著です。

自治功勞表彰

たきざわ はじめ
滝澤 肇 氏 (77歳 熊谷市中奈良在住)

元熊谷市議会議長
元熊谷市農業委員会委員
元熊谷市観光協会参与
埼玉県知事表彰 (平成26年)

— 功 績 —

滝澤肇氏は、平成7年、地域の厚い信望を得て、熊谷市議会議員に初当選され、以来4期16年の長きにわたり、熊谷市議会議員として市政進展のため献身的な努力と情熱を傾け、本市の発展と市民福祉の向上に大きく貢献されました。

この間、氏は、総務常任委員会委員長、議会運営委員会委員長等の要職を歴任し、豊富な経験と卓越した識見をいかんなく発揮され、広く市民の声を市政に反映させるとともに、多くの課題解決に力を注がれました。

このような氏の優れた政治手腕と温厚篤実な人柄が多くの信任を得て、平成13年には市議会副議長に、平成16年には議長に就任されました。在任中は、優れた指導力で、議会内の意見を取りまとめ、議会と執行機関との綿密な連携を保ちつつ、効率的かつ円滑な議会運営に尽力されました。

また、氏は、農業委員会委員、熊谷地区消防組合議会議員、熊谷・深谷と畜場組合議会議員、大里郡利根川水害予防組合議会議員等、多方面にわたり献身的に努力され、市政及び広域行政の充実と発展に貢献されました。

さらに、国民体育大会準備委員会及び実行委員会の委員として、「彩の国まごころ国体」の成功に向け尽力されたほか、株式会社熊谷市生鮮食品低温貯蔵センター取締役や熊谷市観光協会参与等を歴任され、市の産業の発展に多大なる功績を残されました。

また、熊谷市・大里町・妻沼町合併協議会委員や地方分権・合併対策特別委員会の委員として、円滑な合併と新市誕生の推進に取り組みされるなど、本市の発展に寄与された功績は誠に顕著です。